

野々市町地域公共交通活性化協議会

平成21年3月 4日設置
平成22年3月19日連携計画策定



概要

野々市町では、平成13年度から地域公共交通について検討を行い、平成15年度からコミュニティバス『のっティ』の運行を開始した。6年を経過した現在は、3台の車両で4ルートを実行しており、利用者は90万人を突破しているが、土地区画整理事業等による都市構造の変化に伴い、町民の移動ニーズが多様化してきている。そこで、町民が移動しやすく、生活しやすい公共交通環境を実現するため平成21年度に策定した『野々市町地域公共交通総合連携計画』に基づき、鉄道や路線バス等他の公共交通との連携を強化し、更なる地域公共交通の活性化を図る。

○南北シャトルバスの実験運行

町の南北を結ぶシャトルバスの実験運行を5月から11ヶ月間実施する。また、運行に併せて利用者に対する調査を実施し、町民の移動ニーズを把握するとともに、採算性も考慮して、将来的に民間事業者による継続運行の可能性を探る。

○コミュニティバス(のっティ)のルート変更による実証運行

南北シャトルバスを軸としながらも、既存の公共交通であるJRや、北陸鉄道の石川線及び路線バス等との連携を強化するために、のっティのルートを変更し、利便性の向上を図るとともに、新たな需要の確保を目指す。また、ルート変更に併せて利用者に対する調査を実施し、今後におけるのっティの在り方を検討する。

○総合時刻表の作成

のっティと南北シャトルバス、JR、北陸鉄道石川線及び路線バスとの乗継をわかりやすく表示した総合時刻表を作成し、地域公共交通の利用促進を図る。

○車内広告等の検討

のっティにおいて、車内広告等の実施方法を検討し、広告収入をはじめとした運賃収入以外の収益の可能性を探る。

